

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2023-2024年度最終号 No.13

2023-2024年度ガバナー 田島 敏久



世界に希望を生み出そう

RID2780地区テーマ

若者と希望:MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう

Rotary



シンガポール国際大会 ガバナー補佐と共に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023-2024



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー

田 島 敏 久

(相模原西RC)

1年間・GAVENER年度を振り返って!!

皆様方お世話になりました。2023～2024年度、エレクト時より1年半大変忙しく、正に人生道場でありました。小沢一彦元RI理事を始め、三木明財団管理委員、佐藤芳郎RI理事、地区のPG諸先輩方には【感謝に始まり感謝で終了】という心境であります。至らない点多々あったかと思いますが、ROTARYの友情でお許しいただきたいと思います。今後とも、ROTARY活動は継続するので、ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

2023～2024年田島敏久ガバナー年度は、ROUTINE WORKとして、公式訪問は11月一杯で67CLUB終了しました。ROTHERACT 5 CLUBは2024年2月を以て終えました。72のCLUB公式訪問は、それぞれの個性的な意見、要望が有り、貴重な意義ある訪問と理解しました。

佐藤芳郎RI理事のご指導の基『世界POLIO DAY』を10月25日に世界的PIANIST花房晴美様をお迎えして、CHARITY CONCERTを盛会裡に大和シリウス音楽HALLで施行しまし

た。

11月25日・26日：我が2780地区の地区大会にRI会長代理足立功一PGをお迎えして開催し、11月25日第1日目、鎌倉パークホテルにおきまして、諸行事、会長・幹事会、指導者育成SEMINAR、姉妹地区10周年記念式典：3662地区尹ガバナー来日参加頂き無事に終え、RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会を盛会裡に終了することが出来ました。

第2日目は午前中エクスカーション、新世代交流会を施行し、会場場所を相模女子大学GREEN HALLにかえ、本会議を施行しました。記念講演は世界情勢について：慶応義塾大学総合政策学部廣瀬陽子教授にお願いして【ウクライナ危機の深層～ハイブリッド戦争の脅威と世界への影響】のTHEMAで講演を頂き、凄く好評でした。

10月に入り、日本3ZONEの34地区で、地区大会が2024年5月17日まで開催され、地区の行事がない時の日程で、10箇所地区大会に参加できました。



2024年になり、田島敏久ガバナー年度目標としていたIMが始まりました。そもそもIMの歴史と目標としてのONSETを考えますと、1914年にSAN FRANCISCO RCでIMが始まりました。日本では、1926年に初めて大阪で開催されました。その目的は【分区内の会員の相互の知識と親睦を広めることであります。】経験豊かなLEADERの下でのROTARY奉仕活動の原点理念を学ぶ会合であります。

そのIMの精神で、2780地区の9GROUP全てのガバナー補佐10人がそれぞれのTHEMAを提唱し、開催して大いに盛り上がりました。DLPとして、IMを開催しての意義がガバナー補佐のやる気を奮起する機会でした。

GAVENER田島敏久・地区幹事大河原幸夫：IMについて

- ・ 1月24日第9G：井上勝典AG
THEMA：【ROTARYから発信する世界】
- ・ 2月03日第8G：林啓之AG
THEMA：【地域発「学びの子供たちとともに」不登校】
- ・ 2月10日第6G：小松正道AG
THEMA：【共に生きる社会を目指して～発達障害を学ぼう～】
- ・ 3月02日第4G：伊澤敏典AG
THEMA：【第4Gに於ける青少年交換について】
- ・ 3月16日第2G：横山英夫AG
THEMA：【お互いのCLUBを知って、つながろう!!】
- ・ 3月17日第3G：村上進AG
THEMA：【震災と防災地域力「その時どうする！それからどうする」】
- ・ 3月30日第1G：岡田英城AG
THEMA：【次代を紡ぐ】

- ・ 4月13日第5A・BG：

奥田経男AG、草薙喜義AG

THEMA：【ROTARY CLUBを熱く語り合おう】

- ・ 5月18日第7G：小野良太郎AG

THEMA：【会員増強と社会奉仕で輝く未来を】

以上が我が9GROUPのIMの成果であります。

2月24日地区TEAM研修SEMINARは相澤ビルで無事終了することが出来ました。

3月09日PETS開催は藤沢商工会館ミナパークで終了。

4月21日：2024年度地区研修・協議会は横須賀地区岡田英城AG、小林康記実行委員長を中心に神奈川県保健福祉大学で無事終了しました。

5月19日に次年度幹事研修SEMINAR、会員増強SEMINARを実施。

5月25日～29日までのSINGAPORE世界大会、小沢一彦元RI理事筆頭に、小佐野圭三PG、相澤光春PG、佐野英之PG、杉岡芳樹PG、田島透PG、佐藤祐一郎PG他参加を見ました。驚くなかれ2023～2024年度ガバナー補佐全員が参加し、将来のROTARY活動の原点を見て、今後の更なるROTARY奉仕活動が期待されます。

今年1年間の現状報告をさせて頂き、多大なる小沢一彦元RI理事始め諸先輩方のご尽力の下で、RID2780ガバナー田島敏久として、微力ではございましたが全力を尽くしております事を感謝しつつご報告申し上げます。

謝辞

【感謝に始まり 感謝に終わる】

RID2780ガバナー田島敏久

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
一年を振り返って	4
第7グループIMについて	18
平和フェロー日本文化交流会	19
米山同窓会と同窓生の集い	20
次年度クラブ幹事研修	21

次年度会員増強セミナー	22
全国RYLA研究会に参加して	23
D2590 合同財団奨学生 壮行会	24
青少年交換卒業旅行	25
米山功労者一覧	26
R財団寄付者一覧	27
ROTARY フェス2024	28

一年を振り返って

第1グループ・ガバナー補佐

岡田 英城 (横須賀RC)

『時代を紡ぐ』

第1グループガバナー補佐を務めました横須賀ロータリークラブの岡田英城です。

第1グループは、三浦半島を拠点に横須賀、横須賀北、三浦、横須賀西、横須賀南西、横須賀RAC、三浦学苑IACで構成されています。横須賀と三浦は日本の歴史の中で重要な役割を果たしてきました。その中で、数多くの人々の営みや行いが交じり合い、地域の歴史が紡がれ、形成されてきたと考えます。ロータリー活動も人の交流をはじめ、その一翼を担ってきたのではないかと考えております。

本年度も各クラブの個性が輝き、地道な奉仕活動を実践していただき、グループ内の交流も進みました。特に三浦RCに主催していただいたIM（インターシティミーティング）では、一層の団結の機会を享受し、皆で新たな時代への出発を共有することができました。三浦半島の発展、ロータリー活動の発展、日本および世界の平和に少しでも貢献できればと思います。また、それが会員ひとりひとりの発展につながると考えます。

最後に、第1グループの皆様のご協力に感謝し、挨拶とさせていただきます。



第2グループ・ガバナー補佐

横山 英夫 (鎌倉RC)

『一年を振り返って』

田島ガバナー年度、第二グループガバナー補佐として活動できたことを、心から感謝申し上げます。

ガバナー補佐研修は前年の10月から翌年の6月まで9ヶ月に渡り、パストガバナーによる研修を経て、7月からガバナー補佐の任を遂行するわけですが、当初はとにかく長いと思っておりましたが任が解け



るとあっという間の21ヶ月でした。

また、第二グループ各クラブの会長幹事、会員の皆さんの温かいご支援とご協力により、ポリオディでのコンサート・インターシティミーティング・第二グループ親睦ゴルフコンペなど多くのプロジェクトにおいて、多くのロータリアンが積極的に参加し、素晴らしい仲間との経験を通じて、奉仕の力と団結の大切を改めて実感しました。

また、田島年度10人のガバナー補佐の団結力が非常に強く、田島ガバナーを支えようと、全員が思っていました。

その結果として、各グループのインターシティミーティングに全員出席さらにシンガポール国際大会にガバナー補佐全員参加によってガバナー補佐同士の絆はゆるぎないものになったはずです。

最後に今後もロータリークラブの一員として、奉仕活動・社会貢献活動などを、私なりに行って参りたいと思います。

ありがとうございました。

第3グループ・ガバナー補佐

村上 進 (藤沢東RC)

『クラブの為に、会員の為に』

この一年間第3グループの会長幹事を始め会員の皆様にお支え頂き活動出来た事、まずは御礼申し上げます。

RI会長の『世界に希望を生み出そう』をテーマに活動し、今年度はガバナー補佐の団結が強く各グループのインターシティミーティングにAG全員参加しました。各グループ打合せした訳でもないのにテーマも被らず『世界に希望を生み出そう』を実践する興味深いIMばかりでした。シンガポール国際大会もガバナー、ガバナー補佐全員、地区幹事も出席した年度は無いとも聞いております。この事で第3グループ以外のロータリー会員とも交流を持て良い経験になりました。

また第3グループの奉仕活動はガバナー月信のガバナー補佐挨拶でも書かせて頂きましたが「地域の小さな奉仕活動を通して是非とも感動や喜びを共有出来る仲間を増やして下さい」をポリオ募



金やカラオケ大会等々で、実践出来たと思います。

こんな素晴らしい出会いと経験をさせて頂いた田島敏久ガバナーに感謝するとともに2780地区の会員すべて、ガバナー事務所及び各クラブ事務局に御礼申し上げご挨拶とさせていただきます。

第4グループ・ガバナー補佐

伊澤 敏典 (茅ヶ崎湘南RC)

『一年を振り返って』

AGE研修から、自分に務まるのか自問自答の中で始まり、非常に濃い1年9か月を過ごさせて頂きました。6クラブとは会長・幹事はじめ、多くの会員と交流を育む事が出来た事は、私にとって大きな財産となりました。一番の思い出はIMです。青少年交換をテーマにと企画から地区委員会と意見交換を重ね、当日は、第4グループ会員と青少年交換委員会、交換学生、次年度派遣学生、ROTEX、カウンセラー、ホストファミリーが参加され、基調講演と学生達の真剣な日本語スピーチを、参加者全員で見守り、同時に、真剣に取り組む交換学生の姿に感動を感じる事が出来ました。青少年交換について考える機会となり、今後、第4グループとして、良い方向に進める事が出来ればと思います。

田島ガバナー、地区幹事、地区役員、そして同期AGの皆様との貴重な時間と出会いに感謝すると共に、私を支えて頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。



第5Aグループ・ガバナー補佐

奥田 経男 (相模原橋本RC)

『一年を振り返って』

多くの皆様のご協力を得て、最後の第5Aグループガバナー補佐を務めさせて頂くことが出来ました。ガバナーのビジョンである「ロータリーの活動の原点は、クラブにあ



ること。地区ではない。指針を示すこと。」を体现すべくクラブ活動を中心にしてグループ内の支援に取り組んできました。公式訪問だけでなく各クラブのポリオ募金イベントに参加したり、IMのPRのためホストの相模原グリーンRCの担当会員と第5Bグループの全てのクラブを訪問させていただいたり貴重な体験が出来ました。

ガバナーの和の精神が浸透して本年度のAGの結束はとても固いものがありました。全グループのIM出席やシンガポール国際大会への全員参加などとても素晴らしい体験をしました。今後のロータリー活動にもこの経験を生かしていきたいです。グループの会長幹事会も14回開催して、各クラブの会長、幹事、事務局の皆様大変お世話になりました。1年間以上にわたりありがとうございました。

第5Bグループ・ガバナー補佐

草薙 喜義 (相模原西RC)

『一年を振り返って』

これまでロータリークラブへ入会以来、ロータリーは「楽しくなくてはならない」「楽しくあるべきだ」という信念で活動をしてきました。今回、ガバナー補佐（以下、

AG）を仰せつかりさまざまな研修を受け、AG仲間と語り合いながら、ロータリーの楽しさの本質をみる事が出来ました。

イベントにせよ、奉仕活動にせよ、どんな活動にせよ全員で取り組み、懸命に努力をすることで楽しみの質を高め、感動を深めました。全員の意見や、感覚に織りなされたより高質な活動の中で、より深い楽しみを獲得できた気がします。今回のAGの経験は、わたくしにこれまでにない大きな財産を与えてくれ、これからの希望も与えてくれました。AG就任した直後、誰いうことなく「国際大会」に、すべての「IM」に全員で参加しようといった合い言葉が、現実のものになるとは。



一年を振り返って

第6グループ・ガバナー補佐

小松 正道 (海老名RC)

『一年を振り返って』

海老名ロータリークラブに入会して20年になりますが、今年度は、今までの年月を凝縮したような一年になりました。振り返れば、準備期間を含め、18カ月、走り続けた気がします。第6グループは10クラブでありますので、平均的に10年に一度、ガバナー補佐の輩出クラブとなります。その中でガバナー補佐を任される事は、名誉でもあり、重責でもありました。ガバナー公式訪問から始まり、地区セミナーへの参加、グループ内クラブ事業への参加、地区大会、IMの開催、他グループIMへの参加、地区協議会、国際大会参加等、ロータリーに始まり、ロータリーに終わる。正にそんな一年でした。

多くの仲間と出会い、奉仕の中で培った友情、ガバナー、ガバナー補佐仲間と飲み交わした掛け替えのない時間は、私にとって一生の宝になりました。

結びになりますが、何時も快く支えて頂いた、第6グループの皆様に、心から感謝申し上げます。



いただき、大盛況に終わりました。また14年間やっていなかったため、私の一番の懸念事項であったガバナー補佐杯も、周りに迷惑かけることなく無事に回ることができました。そしてIMも関わっていただいた全ての方々のお陰で、成功裏に終わることができました。1年前月信で、楽しい一年だったと振り返れるよう活動したいと申しましたが、本当に楽しい1年となりました。田島ガバナーを始め皆様に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

第8グループ・ガバナー補佐

林 啓之 (平塚北RC)

『一年を振り返って』

新しいロータリーの在り方を日本のロータリーから生み出そうではありませんか？

今までのロータリーは「紛争と平和」に貢献できているのでしょうか？そして、日本は？

シンガポール国際大会に出席して、国と地域のフラッグが登場した時、その多くの国と地域が過去に、今に、紛争地であったことの驚きでした。果たして、我々ロータリーの平和活動は有効に働いているのかと疑問に覚えたことを鮮明に記憶している。

華やかな音と映像の裏には今でも紛争が続いているのではありませんか？

もう、傍観者でいることを辞める時です。RIの下での活動ではなく日本のロータリーが直接的活動にその方向性を変える時ではありませんか？自主独立の日本のロータリーとなることを進めます。高潔性と自信を取り戻す為に・・・？！そして、日本人の尊厳と誇りを持ち続ける為に、日本のロータリーを生み出そう。

あれ？何だ！シンガポール国際大会の帰りの飛行機での夢か？

一年間、お世話になりました。



第7グループ・ガバナー補佐

小野 良太郎 (秦野中RC)

『一年を振り返って』

本年度はガバナー補佐として、各クラブへの挨拶回り、そして8月17日のガバナー補佐訪問から公式訪問行事が始まり、10月23日ガバナー公式訪問で6クラブ終了となりました。各クラブ大変個性があり、たくさんの気づきと勉強させていただきました。また全てのクラブが温かく迎えて頂き、楽しく充実した公式訪問行事でした。10月25日のポリオデーコンサートも会場が埋まるかとの心配もありましたが、多くの会員が集まって



第9グループ・ガバナー補佐

井上 勝典 (足柄RC)

『一年を振り返って』

一年を振り返る時、この得難い経験を託して頂いたガバナーを始めとして地区役員の皆様に、まず持って感謝と御礼を申し上げます。



振り返りますと、このお話しを頂いた時、この自分に務まるだろうかと自問自答し、この時を境に身も心も引き締まった事がいまでも記憶に新しく甦って参ります。30数年のロータリー活動とこの一年は大袈裟な言い方かも知れませんが月と釐ぐらいの差があったかの様に思われました。

本来、ロータリー活動とはクラブ内での終始で、他クラブの活動は傍観者的な見方しかせず、グループ内、はたまた地区内に至ってはクラブを違った目線、言葉を換えると俯瞰して観る、その様な事は、ガバナーの言葉からしか聴いた記憶は有りませんでした。ましてや、自分がその立場に成るとは夢夢想像に難く、この一年間の経験は、何物にも変え難かったのも事実で有ります。又充実した一年を素晴らしい補佐の仲間たちと同じ価値観、同じ目的、共に助け合い、享受できた事は何よりも勉強になり、改めてこの機会を与えて頂いたガバナーに感謝と御礼を申し上げ一年を振り返ってとさせていただきます。

地区幹事

大河原 幸夫 (相模原西RC)

『一年を振り返って』

大変長いようで終わってみれば短くも感じた今年度、1年間を振り返ってではありますが、田島ガバナーが国際協議会からご帰国されてから2月の地区チーム研修セミナー、PETS、地区協など、今年度のためのセミナーにつきまして、地区研修委員会を筆頭に皆様方には



大変お世話になりました。

年度が始まり10月には「世界ポリオデー・夢の音楽祭」、11月には地区大会が盛大に開催され、姉妹地区（RI3662地区）やホストクラブの姉妹クラブである台北敦化RC、台北美人RCなどから多くのご来賓にお越し頂き、国際色豊かな大会となりました。成功裏に大会を終えられたことに関係者すべての方々に感謝しております。

また、AG間の交流が素晴らしく各グループIMの相互訪問や、5月のシンガポール国際大会にはAG全員が参加する快挙となりました。

ガバナー年度にあたり地区幹事として務めさせて頂き、多くの素晴らしい方々と出会い、支えられ、また友情に深く感謝申し上げます。ご支援ご協力を賜り1年間を乗り切る事が出来ました。本当にありがとうございました。

地区戦略計画委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南RC)

『一年を振り返って』

RIはクラブの戦略計画（行動計画）策定を推奨しています。

地区は皆様のクラブが個性あるビジョンを持ち、多様性と活気にあふれ、地域社会、グローバル社会に良い変化をもたらす活動ができるよう支援しています。

地区の戦略計画は国際ロータリーの新しいビジョンを踏まえながら地域社会がよい変化を生むための活動目標として、地区ビジョンと行動計画として戦略計画が策定されています。

戦略計画を策定されたクラブが増えてまいりました。しかし未着手のクラブも多く、策定に向けて地区の戦略計画及びビジョンについての質問が多く寄せられました。

ぜひ、地区ホームページのトップページに「地区戦略計画」（ビジョン・優先事項・行動目標）について掲載しましたのでご覧ください。

戦略計画を立て、それに沿って行動しているクラブは、戦略計画がないクラブよりも変化に対して柔軟に対応できることが分かっています。また、



一年を振り返って

戦略計画を立案すれば、現状分析を行なえ、課題を克服して目標達成に向けて長期的に取り組むことが可能となります。さらに、リーダーが年度ごとに交代しても、一貫性をもってクラブを発展させることができます。まだのクラブの方はぜひ策定してみませんか。地区戦略計画委員会はいつでも支援させていただきます。

地区研修委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『ロータリー教育文化ルネッサンス Training から Learning へ』

今年度の地区研修委員会は標題のような変革期を迎え、さらに14名が次年度は6名の委員会となる事を考慮しながら、委員の皆様はご努力なされました。お陰様で佐々木年度のガバナー補佐、地区チーム、クラブ会長及びクラブリーダーには少人数の分科会においてお互いのアイデア交換を含め、必要な基礎的知識は習得していただいた事と存じます。ロータリーはESS (Enjoy・Stady・Service) の永遠のスパイラル向上運動です。

「ESS 仲間を誘おう ロータリー」とクラブ活性化の第一義は会員増強であり、楽しくて役に立つクラブづくりに地区研修委員会は次年度も学びの機会を提供してまいります。今年度を支えて頂きました全ての方々に心より敬意と感謝を申し上げます。



地区危機管理委員会

委員長 石田 隆 (逗子RC)

『一年を振り返って』

今年度の危機管理委員会では下記の活動を致しました。

- ①2024年2月17日にアイクロス湘南に於いて危機管理セミナーを開催いたしました。過去の形式とは違うケーススタディーを実施し実のあるセミナーとなりました。



した。

- ②第2650地区（京都・奈良・滋賀・福井）と当地区との災害時相互支援協定を田島ガバナー、新井青少年交換委員長の署名のもと締結して頂きました。
- ③地区Website上の「おなやみごと（ハラスメント）相談窓口」の英文併記を致し海外の方へも理解して頂けるように致しました。
- ④昨年度に準備いたしました地区認定・新世代ボランティア誓約書を青少年交換以外のIAC、RAC、RYLA、米山奨学、R財団奨学に関わる委員会メンバーを含むロータリーの会員や外部成人ボランティアより提出頂くことになりました。

今年度も地区に於いて危機管理に関する大きな事案が発生しなかったことが何よりと安堵しているところです。危機管理委員会の皆さま、ご協力ありがとうございました。

姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野RC)

『一年を振り返って』

日韓親善の友情の絆を主眼に、今から11年前に元RI会長李東建様と元RI理事小沢一彦様との協議の結果、両国間の姉妹地区関係が締結し本年度で満10年目を無事に迎える事が出来ました。姉妹締結式典には故渡辺G・田中(賢)GEと私の三人で参加しましたが、全く言葉が通じず大変苦労しました。又、懇親会での韓国の人達のお酒の飲みっぷりの豪快さには大変驚かされました。姉妹関係がスタートし両地区大会への役員訪問が何年間続きましたが、奉仕活動も始まりグローバル補助金を活用したカンボジアへの医療器具贈呈や地区補助金を活用した両国クラブ同士の中学生交流会へのバックアップを皮切りに本年度も中学生交流会が継続されております。昨今の世界的会員減少が続く中、会員増強を目指す目的で昨年度よりスタートした女性文化交流会の



開催、又、zoom会議を通じての更なる第3662地区の実情を皆さんに周知して頂く様に当地区ガバナ一月信を活用しております。本年度で満10年目を迎えた姉妹関係も次年度からは新たな企画の下スタートします。恒例のzoom会議並びに女性文化交流は継続致しますがこれまで培った10年間の友情の輪を基に、更なる第3662地区との友好関係が継続出来ます様に心より応援したいと思います。本当に長い間温かい御理解御協力ありがとうございました。

地区ホームページ委員会

委員長 義澤 彰 (相模原西RC)

『一年を振り返って』

2023-2024年度、各地区委員の皆様お疲れ様でした。

前年の委員長に地区ホームページを託されてから、今思い返すとあっという間の1年間でした。本年1年は、一般の皆様には第2780地区を、そしてロータリークラブの活動を分かりやすく紹介し、そして会員の皆様にはロータリー情報を得られやすく、そしてHPの使いやすさを考え、各委員会の要望に応え、各委員で協議を重ねてHPのブラッシュアップを行ってきました。引き継いだ時には完成度の高いHPでしたが、情報は常に更新して行くもので、その対応にも苦慮致しました。また、私の情報発信の足りないことで、各クラブの活動報告をもう少しUP出来ていればと後悔しております。しかしその中で、ローターアクトクラブの皆様には、積極的にクラブ活動をUPして頂いて感謝しております。

次年度、引き続き地区ホームページ委員会の委員長を拝命致しましたので、今後もより良いホームページを目指し、新委員と共に努めて参ります。宜しくお願い致します。



ロータリーの友地区代表委員

中村 辰雄 (相模原南RC)

『二度目のロータリーの友 地区代表員を終えて…』

初めに昨年の7月初旬、地区便覧に掲載されております第2780地区クラブ会長宛てに挨拶とロータリーの友（以下友誌）への購読の案内状を送り、田島敏久ガバナ一年度の地区代表員を始めさせて戴きました。



毎月全国34地区からの膨大な各クラブ活動記事から、いかに友誌へ多く掲載することができるか、多少不安はありましたが、その任を担ったからには、記事を多く投稿するだけと思い投稿続けておりました。幸いにも私の相模原南RCで4月チャーター会員・黒河内三郎翁の100歳をお祝いする特別例会の記事を5月投稿しておりましたが、9月号へ掲載されることが友事務所より連絡戴いており、幸先の良い発信することができました。10月号からはポリオワクチン募金活動取材し、相模原RCと相模原RAC主催「上溝まつり」・11月号に相模原橋本RC・「橋本七夕まつり」12月号には世界ポリオデーに因んで日本各地でポリオ根絶への取り組み行われましたが我が地区ローターアクト委員会主催の活動がトップ記事に掲載、1月号には鎌倉RCと鎌倉RAC共催で鎌倉大仏高徳院でのポリオ募金活動が掲載、3月号には我が相模原南RCと第3662姉妹地区との青少年国際交流記事、6月号には米山奨学生作品記事を掲載して戴きました。また、お米シリーズ記事として鎌倉RC久保田会員の記事、特に記憶に残っておりますのは8月号の友愛の広場欄へ横須賀RC前田長生会員の「梵鐘返還62周年記念式典に思う先人の思い」3月号には同じ横須賀RC佐久間一博会員の「親子の空白を埋めたロータリーに感謝」の記事掲載、ロータリーアットワーク欄2月号には横須賀南西RCから「盲導犬のこともっと知ってね！」各々独自で記事投稿頂き10ヶ月号に亘掲載戴きましたことに、至心よりお礼申し上げ末筆とさせて戴きます。

一年を振り返って

地区クラブ管理運営委員会

委員長 辻 彰彦 (大和中RC)

『一年を振り返って』

本年度、田島ガバナーは、若者と希望：「メンタルヘルスで和の世界を生み出そう」をテーマに掲げ、ロータリー活動の原点はクラブにあり、ひとり一人の会員が大切であることを強調され、クラブ管理運営委員会としても対話を通じて信頼を築くことに重要をおき活動致しました。



ポリオデーにはR財団委員会と共同でPOLIO根絶の推進と世界平和を実現する為の「夢の音楽祭」を開催、「新会員の集い」や「幹事研修」なども主催いたしました。

一方で、会員の皆さまからのご質問に対し真摯にお答えする、「よろず相談」窓口の運営やMy Rotaryアカウント登録推進及びその活用やグループ間での登録率向上のためのキャンペーンを行うことが出来ました。

また、本年度の最終イベントとしてROTARY フェス 2024を開催し、ロータリアン同志で結成されたバンドのお陰で楽しい時間を共有することが出来ました。

素晴らしい委員会メンバーとの信頼関係の上でそれぞれが能力を活かし、ガバナー方針の実践の一端を担えたと思っております。

最高の仲間が連帯し、助け合うことで多岐にわたる行事を遂行し、絆の大切さを教えて頂いた一年でもありました。

多大なるご協力を頂きました委員会メンバー、関係各位に深く感謝申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

地区公共イメージ委員会

委員長 松下 力 (ふじさわ湘南RC)

『一年を振り返って』

地区内クラブ会長・幹事の皆様。各クラブ所属のロータリアンの皆様、地区役員の皆様。本度度の地区公共イメージ委員会の活動に、多大なるご協力を頂き有難うございました。



この1年、地区公共イメージ委員会では、「地域社会と人々に」をテーマに掲げ委員会を運営いたしました。

地域社会と人々に、地区内クラブ、地区が取り組む奉仕プロジェクトを、SNSを通じて発信することで、多くの方々にロータリーの活動意義を共鳴・共感いただくことが、テーマに込めた思いです。

我々、委員会が画像や動画を通じて「地域社会と人々に」発信したかった事は何か？

それは奉仕プロジェクトの企画段階から実践まで、そこに携わったロータリアンが流した汗、感動の涙、達成に満ち足りた笑顔です。

我々が歩んだ1年の活動により、ロータリーが取り組む活動を、少しでも多くの方々に知って頂く機会になったのなら、委員一同とても有難く思います。

皆様、我々委員会に素晴らしい機会を与えて頂き有難うございました。

地区会員増強・拡大維持委員会

委員長 山田 嗣 (鎌倉中央RC)

『いつでも、どこでも』

こう書くのも、会員増強・維持拡大というのはどこかの瞬間を捉えて頑張るものではなく、常にあらゆる機会を捉えて前進しないと、結果が付いてこないと信じているから



です。役割の終わる人、これからポストにつく人、双方の協力が不可欠です。もちろん全てにフルパ

ワーでは疲れてしまって、継続できません。メリハリを上手につけて、クラブ全員が楽しくなれるよう頑張りたいと思います。

田島ガバナー、大河原地区幹事のご協力の下、自由にやらせて頂きました。心より感謝致します。佐々木ガバナーエレクト、松下ガバナーノミニーにも様々な事にご協力、ご助言頂き有難うございました。次年度に上手く繋げられたらと思います。

永松副委員長、木村副委員長、非力な私をサポートして頂き有難うございました。今年度地区委員の皆様、一年間楽しく、恙なく終えることができたのは皆様無しには考えられません。益々のご活躍を祈念します。

地区職業奉仕委員会

委員長 生駒 秀之 (綾瀬RC)

『一年を振り返って』

前年度から続けて2年間委員会を務めさせて頂きました。23-24度のテーマは、標準ロータリークラブ定款第6条2項を中心に卓話やDVD等の制作を進めました。職業奉仕は難し



い、説明が上手く出来ないという「声」は、今も多く聞かれます。2年間を通じて、出来るだけ優しく、少しでも「職業奉仕」を理解して、実践していこう!!

既に全ての会員の方は、実践している事に気づいていない?と言う事を伝えました。私たちは、職業を通じて、または世に必要とされる役目を日常行っていることが、実践の第一歩です。職業を通じて、雇用や社会のニーズに応え、より多くの理想、結果を求める為のツールとして頂きたい。「奉仕の樹」では、職業奉仕から社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕など様々な奉仕活動に広がってゆく、またその樹が大きく、太くなっていくことで花が咲き、実をつけるなど渡邊RI元理事の資料なども使わせて頂きました。RI的には「職業奉仕」自体立ち位置、重要性が薄れているような感じです。クラブ奉仕、職業奉仕からロータリークラブの歴史始まり今も引き継がれています。職業奉仕は、ロータリー会員の行動規範であり、理

想であります。今後もクラブ内、地区委員会にて職業奉仕委員会、「職業奉仕」が伝承される事を期して1年間の報告といたします。委員方、地区関連委員会の皆様、ご指導、ご協力、ありがとうございました。

地区社会・国際奉仕委員会

委員長 山口 俊明 (藤沢東RC)

『一年を振り返って』

地区社会・国際奉仕委員会の活動は「地区社会・国際奉仕委員長研修会の開催」と「地区リソースネットワークの理解と普及」を主題として活動してまいりました。



2023年11月11日講演とグループディスカッションを中心に「異文化との「和」で希望に満ちた社会を創ろう」をテーマに、JICAの「共生社会実現の試み」平塚市役所市民文化・交流課の「多文化共生への取り組み」秦野市国際交流協会の「役割・活動内容」について講演頂き、グループディスカッションでは「労働不足から避けることが出来ない外国籍の人々の共同社会に向けて、ロータリーが出来る活動について考える」をテーマに各グループ活発な討論がなされ充実した研修会となりました。又地区リソースネットワークの理解と普及において卓話の募集をしたところ10クラブにおいて活用方法を中心にご案内させていただきました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

地区青少年奉仕委員会

委員長 中込 仁志 (鎌倉RC)

『一年を振り返って』

本年度は、青少年奉仕委員会、インターアクト委員会、RYLA委員会の3委員会を統括させて頂き、「地区大会新世代交流会」を主催させて頂きました。



一年を振り返って

3委員会共に、担当の委員長がおられ、当委員会は主に3委員会の連絡、調整、協力を置き、活動致しました。

特に、昨年15年ぶりに復活したRYLAセミナーを、受講者確保、費用、クラブへの負担軽減の観点から検討し、新しい形式のセミナーの開催に向け活動致しました。

受講者を当地区に関係するすべての青少年（14～30才）とし、インターアクト委員会の全面的な協力のもと実施致しました。又、運営サイドにローターアクト委員会にご助力頂き、積極的な参画を頂きました。米山奨学生の方々にもご協力頂き、満足の行くセミナーの開催が叶いました。ただし、他青少年奉仕関連事業とのスケジュールの折り合いがつかず、参加が叶わなかった対象者もいたことから、年当初の全ての関連事業を鑑みて、開催時期を決定しなければならないという、今後の課題もみえました。

3委員会の皆様には、ご理解、ご協力を頂きましたことに、心より感謝を申し上げます。

新井青少年交換長の細やかな気遣いと統率力、協RYLA委員長の計画力と実行力、林インターアクト委員長の継続の意思と推進力、それぞれの委員長に感謝を申し上げます。

終わりに、「新世代交流会」を見事に開催して頂いた、市川ROTEX会長を初めとするROTEXの皆様、「RYLAセミナー」に準備から携わって頂いたローターアクトの皆様、その行動力と団結力は見事でした。感謝と敬意を申し上げます。

私自身の大きな学びの機会となった1年間に、ご尽力を頂いた全ての皆様に感謝を申し上げさせて頂き、活動の振り返り、ご報告とさせていただきます。

インターアクト委員会

委員長 林 雅巳（鎌倉RC）

『一年を振り返って』

今年度は、例年開催している事業に加え、2つの新しい事業と台湾研修事業を実施しました。まず、7月にIAサマーマーケティングを開催し、地区インターアクトの交流を図



るため、ポリオ撲滅キャンペーンを行いました。事前に座学でポリオについて学び、大船駅・藤沢駅・辻堂駅の駅頭で募金活動を実施しました。

次に、藤沢市内の会議室で行っていたアクトズミーティングを逗子海岸に移し、海岸清掃事業を実施しました。逗子開成学園海洋教育センターで逗子市役所職員から講義を受け、清掃の意義や活動中の留意点を学びました。

11月23日には北鎌倉女子学園にて「Now for the future～「比べる」を「尊重」に～」をテーマとしたインターアクト年次大会を開催しました。また、11月26日にユニコムプラザさがみはらで新世代交流会を開催し、多くのアクトーが参加しました。3月23日から24日にかけて厚木市七沢自然ふれあいセンターで開催されたRYLAセミナーにも参加しました。

さらに、コロナ禍で中止が続いていた台湾研修事業を4年ぶりに12月24日から27日にかけて再開しました。台北市内で4校、新北市烏来で1校を訪問し、日台学生交流を行いました。また、台湾総統府やロータリアンの経営するケーキ工場の視察を通じて国際理解を深めました。

最後に、学校関係者、田島敏久ガバナー、中込仁志青少年奉仕委員長、そして1年間共に活動した委員会メンバーに感謝の意を表します。1年間ありがとうございました。

青少年交換委員会

委員長 新井 智代（藤沢南RC）

『青少年交換の

素晴らしさを再認識』

コロナから3年を経てやっとの思いで復活をした交換プログラムでしたが、無事にこの夏1年の滞在を終え日本から9人が自国へ帰国をいたし

ます。この間、学生の受け入れにご尽力いただき大きな愛を注いでくださったホストクラブ・ホストファミリー・委員会の皆様へ改めまして御礼申し上げます。

身体が大きい高校生ですが、まだまだ心は青少年です。1年間慣れない言語・習慣の中で生活し、



ストレスを乗り越え新しい挑戦を繰り返し彼らは「人」として大きく成長致しました。そしてお世話しているつもりだった私たちロータリアン自身も、彼らの成長からインスパイアされ貴重な経験を積むことができました。

本年度、第4グループのIMでは来日学生のスピーチコンテストを開催していただきました。一生懸命勉強した日本語で感謝や感動を伝える学生の姿にこのプログラムの素晴らしさを再認識してくださった方もいらしたことでしょう。貴重な機会をいただき第4グループの伊澤AG並びに会長の皆様に心から御礼申し上げます。

次年度早々に昨年旅立った派遣生8人が帰国します。彼らの感動の報告を多くの会員の皆様に注目していただきたくお願い申し上げます。

RYLA 委員会

委員長 脇 吉昭 (茅ヶ崎湘南RC)

『一年を振り返って』

田島年度のRYLA委員長を務めました脇吉昭です。田島ガバナーはじめ地区の皆様そして地区会員の皆様一年間RYLA委員会を応援していただき誠にありがとうございました。



お陰さまで、無事事業を終了することができました。今年度のRYLAは初めての試みと致しまして、インターアクトを中心にローテックス、米山奨学生、学友、そしてローターアクトという地区の新世代の皆さんを一堂に集めましてのRYLAでした。概ね参加者には好評のうちに終わりましたが、反省するところは数多くあると思えます。ただこの地区の新世代の皆さんは、非常に活発にそして意欲的に物事に取り組んでいるものと感心した次第でございます。

又、来年以降このやり方を2年間続けて行くようなので、どのような成果が出るか大変楽しみです。

最後になりますが、私と一緒に一年間RYLA委員会を運営して頂いた委員の皆様心に感謝いたします。ありがとうございました。

地区ローターアクト委員会

委員長 當間 安弘 (茅ヶ崎中央RC)

『ローターアクト委員会報告』

提唱クラブでもなく、過去に青少年奉仕関係委員会での活動経験もない中で、委員長を拝命いたしました。前年度の大野委員長には一からRAについて教授いただくと同時に、委員会にはRAの卒業生でもある久保田PGにアドバイザーとして加わっていただき一年間を終えることができましたこと感謝いたします。

自分自身も、知識がなかったRAを一人でも多くの地区内メンバーに知っていただく機会として、積極的にPRを行った結果、RA地区大会には98名のロータリアンのご参加をいただけました。

また、二度にわたる合同のポリオ根絶募金活動では、RAの行動力で成果をだすことができました。今年度は、募集チラシも作成しましたので今後のRAの会員増強に活かすことを祈念いたします。

RAは、発想力・行動力、何より高いスキルを持っています。彼らを支援いただくと同時に、その力をロータリー活動にも活かして頂くことにより相乗効果が起きることを期待いたします。

一年間ありがとうございました。

委員長 小用 悠太 (横須賀RAC)

『一年を振り返って』

今年度、RA委員会では、2つの地区行事を行いました。

10月と6月の2回のポリオ募金活動と、12月に横須賀RACがホストとなり第35回ローターアクト地区大会を行いました。

ポリオ募金活動では、藤沢駅前で行われるイベントに出店し、RAの広報も併せて行いました。家族連れが多く行き交う週末にイベントが開催されるため、多くの方の目に触れる機会を得ることができました。

12月に行ったローターアクト地区大会では、



一年を振り返って

小用悠太地区RA代表と竹岡力地区大会実行委員長が主導となり、地区内外問わず多くの方にご参加いただきました。

また、今年度は各クラブの会長が地区の委員となる体制を築いてまいりましたが、やはり委員会への出席が難しいアクターが多く、今後のハイブリッドまたはオンラインでの開催の推進もしていくべきだと感じました。

そして、地区RAの課題として、アクターの数の減少が挙げられます。今後も活動の活性化とローターアクト活動の広報を行っていきます。

今後ともご協力お願いいたします。

地区ロータリー財団委員会

委員長 後藤 定毅 (大和RC)

『一年を振り返って』

ロータリー財団委員会は、地区におけるロータリー活動の根幹をなす委員会であり、その構成や活動も補助金配分VTT、補助金管理、資金推進、平和フェロー奨学金、ポリオプラス等々多岐にわたり、専門的技術的分野の知識が要請されることに加え、一番重要なことは、如何にクラブの方々に分かりやすくTRFの情報を伝え、ロータリアンからの浄財の寄付を含めた財団への関心を育むことが要求されることであります。その点で今年度は、コロナの収束後であり多くの心配もありましたが、クラブ支援に一丸となった活動が出来たことが、委員長として大変誇りで嬉しく思うところであります。

特に昨年10月25日に開催したポリオデーは、地区内全67クラブからチケット、ポロシャツの購入支援を戴き、約190万円の金額をポリオ募金に寄付出来たこと、さらに24～25年度の地区補助金申請が、田島ガバナーの補助金でクラブ活性化という呼びかけが最近ない27クラブからの応募に繋がり、クラブが希望する奉仕活動資金の全額の配分が出来ることになりました。一年間活動戴いた委員の皆様に感謝と御礼を申しあげます。



財団補助金委員会

委員長 吉野 龍彦 (平塚湘南RC)

『一年を振り返って』

「世界でよいことをしよう」の理念の下で、財団寄付の意味と大切さと、財団で将来がある若者青少年の育成に尽力しつつ、補助金を使った素晴らしい奉仕事業が行われますようにクラブの皆様と一緒に活動して参りました。

補助金配分・VTT委員会、補助金管理委員会、財団資金推進委員会、平和フェロー・奨学金委員会、ポリオプラス委員会の全ての委員会で活発に活動して頂き、よりクラブの皆様と地区との関係が密接になったと感じています。

地区補助金に関しては、ガバナー補佐の方々にご協力して頂き、補助金説明会では第1回、第2回の総出席クラブ数は49クラブ、200Mでの説明が4クラブ、さらにローターアクトクラブ2クラブの参加もありました。

そして、結果的に過去最大の27件の申請をお受けしました。

審査の結果26件の申請を満額で承認させて頂きました。

各申請クラブのクラブ奉仕プロジェクトが成功を収めますことをご期待申し上げるとともに財団寄付の意味と大切さをご理解して頂ければ幸いです。



補助金配分・VTT委員会

委員長 前田 長生 (横須賀RC)

『一年を振り返って』

お陰さまを持ちまして、無事に1年間のスケジュールを終えることができ、心より皆様に感謝を申し上げます。

地区での初出向が大変に重要な責務のものであり、当初は補助金配分の仕組みそのものを理解することに追われていましたが、幸いにも地区財団委員会の



方々に恵まれ、和気藹々と過ごすことができました。コロナ禍で9件にまで減少した奉仕活動を再び活発にするために、委員が分担して会長幹事会に出席し各クラブへの補助金申請をお願いしたところ、27件もの申請がありました。TRF（財団本部）にできる限り多くの申請を受領してもらうべく、各委員が何度も各クラブの担当者と事業内容の検討を重ねて修正を加え、地区内過去最多となる26件を受領してもらうことができました。

これは財団委員長をはじめとする地区財団関係者の気持ちと力が結集した素晴らしい成果であったと考えています。

最後に当委員会委員の方々のご努力に敬意と感謝を込めて、御礼を申し上げます。

補助金管理委員会

委員長 坂根 隆志（ふじさわ湘南RC）

『一年を振り返って』

1年間ありがとうございました。財団の小委員会に所属して6年間お世話になりましたが、これで財団委員会から離れることになります。補助金配分推進委員会に1年と補助金管理委員会に5年お世話になりましたが、補助金管理委員会では、副委員長3期、委員長2期を務めさせていただきました。大変勉強になりました。毎年、説明会を行うたびに資料を読み返すこととなり、逆に自分自身が教わっていたような気がします。その間、特にコロナ禍の数年があったため、その時勢に沿った申請クラブの事業内容や補助金の在り方が変化した数年でした。最後の年となった本年は、委員会へほとんど参加できず、委員の皆様大変ご迷惑をおかけしたことが心残りではありますが、来年以降のメンバーに期待したいと思います。

今後も補助金は継続されますが、ますます良い事業が誕生し、地域住民などの受益者への奉仕、クラブの活性化に役立つ制度へ変化を続けて欲しいと思っています。次は補助金を使う側（申請クラブ）として利用させていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。



財団資金推進委員会

委員長 山田 修（相模原南RC）

『一年を振り返って』

1年間、ロータリー財団へのご理解とご協力を賜り、有難うございました。

11月を中心に各クラブから卓話のご依頼を頂き、26クラブの例会で財団関連の卓話を実施出来ました。

地区の年次寄付の実績は、この原稿を書いている6月下旬で集計済みの5月末日までで、1人当たり151.3ドルです。ロータリーレートは1年間で12円も円安が進み、年次寄付の実績に少なからず影響しているものと考えられます。

一方で、佐々木ガバナ一年度に地区補助金を活用するクラブは26クラブになります。コロナ禍で低調だった奉仕活動が大きく変わったと感じました。

あるクラブの会長エレクトが「今年度の年次寄付は少なかったのですが、多くの地区補助金の支給が決まったので次年度はたくさん寄付します。」と話されました。

今後も、ロータリー財団への理解を深めて頂き、補助金を活用し、ロータリー財団へのご寄付をよろしくお願い申し上げます。



平和フェロー・奨学金委員会

委員長 福山 茂（相模原グリーンRC）

『皆様の寄付で多くの優秀な 人材が世界に貢献』

今年度は当地区担当の平和フェロー、第22期生サミュエル・マッカーシーさん（リベリア）が来日し、在学中の3名のフェロー（いずれもコンビア）と合わせて4名を担当いたしました。地区大会では晩餐会や新世代交流会への参加の他、今年度は米山奨学生と共に友愛の広場で活動し交流を深めました。また日本文化交流会を日帰りバ



一年を振り返って

スツアーで行い、当地区から多くの会員の参加をいただき、交流を深めることができました。またクラブの例会にも積極的に招待いたしましたので、平和フェローに対する理解は深まったかと思えます。

一方ロータリー財団のグローバル補助金奨学生は3名が合格（小林由季さん、清原亜実さん、杉野若葉さん）、そして地区補助金奨学生は1名が合格（野崎里奈さん）、4名ともイギリスへの留学が予定されています。

この様に皆様の寄付が、多くの才能ある優秀な人材にレベルアップの機会を与えてくれています。ゆくゆくは世界に貢献する人材に成長することを期待いたしましょう。

ポリオプラス委員会

委員長 笠間 治一郎（綾瀬春日RC）

『ロータリアンだけでなく
皆で活動を！』

今年度の中心活動は、10月に開催した「世界ポリオデー 音楽の祭典」と各クラブにおける「END POLIO NOW」の募金活動でした。募金活動ではロータリアン以外の方（ボーイスカウトやガールスカウト、少年野球、ローターアクトやインターアクトなど）と一緒に活動でき、ポリオ根絶に対する理解がより一層深まり公共イメージ向上にもつながったのではないのでしょうか。今後もこの様なロータリアン以外の方々と一緒に活動することが増えていくことを期待しています。世界ポリオデーでは、チャリティーコンサート「音楽の祭典」が多数の参加のもと盛大に開催することが出来ました。チケット、ポリオシャツの売り上げにより、多くのポリオ寄附をすることができ、ご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。様々な活動の積み重ねにより、ロータリーの最優先事項でもあるポリオ根絶の重要性の理解とPRに繋がるのではと感じました。

昨年の症例数は12症例（2か国）と減少、今年

は6月初めで8名（アフガニスタン4名とパキスタン4名）となっています。このまま減少してポリオが根絶できることを期待しています。皆様の「活動と寄付」で、あと少しです。

最後になりますが、田島ガバナーをはじめ、ガバナー補佐、地区役員、そしてポリオプラス委員、ローターアクト、インターアクトの全ての皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区米山委員会

委員長 三荒 弘道（平塚RC）

『一年を振り返って』

令和6年6月27日（木）鎌倉パークホテルにて23-24年度及び24-25年度新旧米山引継ぎ懇談会が開催され、23-24年度第2780地区米山奨学委員会の全ての事業が終了いたしました。

今年度は地区テーマ「メンタルヘルスで和の世界を生み出そう」の下、特に学友会に組織強化、ドル高に対する米山寄付への対応、危機管理上のハラスメント対策を中心に事業展開してまいりました。また、米山学友チューター制度の導入、委員会メンバー及び世話クラブ会長・カウンセラーの新世代育成ボランティア誓約書提出が決定され今年度より適応されています。今後もより良き米山奨学金制度を目指し、課題を1つ1つ整理し対応してまいります。

結びになりますが、お世話になりました田島敏久ガバナーを初めと致します地区役員の皆様、米山奨学委員会小山委員長、米山学友委員会田島委員長を初めとする委員会の皆様、各世話クラブ会長・幹事・カウンセラーの皆様、ルイ会長を初めとする米山学友のメンバーに心から感謝申し上げます。米山奨学委員会最終報告と致します。

「1年間大変お世話になりました。ありがとうございました！」



米山奨学委員会

委員長 小山 美智恵 (横須賀RC)

『米山奨学生・学友と共に』

米山の事業は面接試験を経て奨学生として過ごす1～2年間で、その後も長期にわたり学友として関わりを続けます。私は4年間、その責任ある委員会で活動させていただき、その中で長く楽しい時間を過ごす方法を模索してきました。若者たちとの時間は母親のような気持ちにさせ、かつて自分が歩んだ道を振り返ることもありました。お互いに過剰な期待を抱かず、感謝や尊敬の気持ちを大切に、積み重ねた交流が信頼を深め、学友と共に明るい未来や平和な社会の実現に寄与していることを実感しています。これらの経験を多くの方に共有したいと考えています。今後も出来る限りの貢献を続けていきたいと思えます。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



米山学友委員会

委員長 田島 富美子 (相模原西RC)

『米山奨学委員会に所属して』

2001年3月にロータリークラブに入会させて頂きました。女性会員が少ない時代でした。私のロータリー人生の始まりは真っ赤なバラが咲き始めた如く心は夢見るシャンソン人形でした。

会長職を終えてから、地区米山奨学委員会へ出向させて頂き、異国の奨学生さんのお世話をする機会に恵まれて、若き血漲る学生さんとの出会いはロータリーならではの経験でした。

日本ロータリーが誇る世界で只一つの米山奨学会の奨学金制度を身近で勉強できました。米山委員会が主催する行事が多々あり、委員が自分の仕事を抱えながらの活動に、流石の奉仕活動だと共



感致しました。

2023年研修旅行は、箱根・三島、米山梅吉翁のお墓参りで奨学生と学友会生とがお話し出来る大事な場でした。日本料理を食べながら、誰にも気兼ねする事なく、伸び伸びしていたと感じました。箱根大涌谷を散策時カウンセラーさんと日本のマナーを話しながら奨学生さんとの微笑ましいふれあいが見受けられました。

ロータリー会員新人研修会とのコラボレーションとなりますと奨学生さん学友会生さん、色々な観光コースへいけますが、本来の交流の場にならない様です。

奨学生をどの様に育てるか？

大事な米山委員会の使命があります。研修旅行は委員会、奨学生、学友会生が密に触れ合える機会です。奨学生さん、学友会生さんは日帰りではなく宿泊研修の方が打ち解けた交流ができるとの声が多かったですが、セクハラの問題が生じる懸念があり難しいのが現状と言えます。

2024年学友会主催の国際交流会は二宮町民センターにて、祖国の菓子やら料理を作りロータリー会員と共に異国文化に触れながら奨学生同士が交流する事ができましたし、ロータリー会員も米山学友会への寄付で、優秀な人材が育ち、母国へ帰国して、日本の国を紹介し、架け橋となる事を身近で感じる事ができたと思います。

最後になりましたが、今期は思い出深い再会 in 関東 筑波が開催されました。前夜祭に始まり、本会議、まさに世界に誇る米山フェスティバルがありました。ロータリーは辞めらるが、米山は辞められない、米山育ちの心が伝わりました。涙が溢れてしまいます。

米山委員会の委員は皆様精一杯努めました。5年間、私は素晴らしい委員会に属させて頂き、力を尽くして嬉し涙と共に去りぬ。現在の私の心境です。

お世話になりました委員の皆様、奨学生と学友会の皆様5年間有難うございました。

紅涙に消ゆる！

第7グループIMについて

第7グループ

ガバナー補佐 **小野 良太郎**
(秦野中RC)

我々ロータリーの会員ができることは、会員増強して多くの仲間を増やし、その仲間と共にインパクトのある奉仕活動を行うことで、世界で、地域社会の中で、持続可能な良い変化を生み出すことです。そしてロータリーは、人を育てる組織です。会員増強と奉仕で、自分自身の中でも、持続可能な良い変化が生まれた会員が増えていくことが輝く未来、ロータリーの発展に繋がると思います。その力が結集することで、今よりもっと世界で良いことができるようになります。そのため、今回のIMのテーマを「会員増強と社会への奉仕で輝く未来を」とし、5月18日開催いたしました。

当日は12:30登録受付開始し、13:00より6クラブ合同例会、13:15より第2690地区よりIMアドバイザーとして松本 祐二パストガバナーをお招きし、IM開会いたしました。当地区から田島ガバナー、佐々木ガバナーエレクト、松下ガバナーノミニー、中込ガバナーノミニーデジグネート、そして同期ガバナー補佐をはじめ、多くの来賓の皆様に参加していただきました。特に、今回のガバナー補佐は団結力強く、1年間各IM全員参加してまいりました。他地区からも、益田西RCの方々も参加していただきました。そして第7グループの会員の皆様も本当に多く参加していただき、約180名も集まり

ました。

関野IM実行委員長の開会の言葉からスムーズに進行し、各クラブ発表の時間では、発表者の方々から会員増強、社会奉仕、そして国際奉仕について等発表していただきました。各発表者が自身の経験に基づき、本音で話していただきました。それぞれ大変勉強になる素晴らしい内容で、会場は大いに盛り上がりました。各クラブに持ち帰って、今後のロータリー活動に活かせると思っております。IMアドバイザー講評では、松本パストガバナーよりそれぞれにアドバイスをいただき、また参加した会員全員にも、今後の活動の活力となる心強いお話をしてくださいました。閉会式も、田中次期ガバナー補佐紹介等スムーズに進行し、高橋IM実行副委員長の閉会挨拶で無事終了となりました。そして懇親会も多くの会員が参加していただき、それぞれ懇親を深めることができたのではないかと考えております。今回田島ガバナー、佐々木ガバナーエレクト、松下ガバナーノミニーにも、それぞれ素晴らしいご挨拶をいただきました。本当にIMに参加していただいたご来賓の皆様、第7グループの皆様、関野IM実行委員長、三浦会長をはじめとするホストクラブの皆様、関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。



平和フェロー 日本文化交流会

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 **福山 茂**

(相模原グリーンRC)



平和フェローを支援する、6地区の持ち回りで行われている平和フェローの日本文化交流会を、今年度は当地区が担当となり、箱根、湯河原への日帰りバスツアーを行いました。参加人数はロータリー会員が27名、平和フェローが10名（＋パートナー1名）、ICUの担当の方が1名の計39名、当第2780地区からは佐藤 祐一郎P Gを初めとする12名と、多くの会員の皆様に参加いただきました。コースは、＜12：00小田原駅新幹線口→12：30岡田美術館→14：30箱根神社→16：00ニューウェルシティ湯河原→19：40小田原駅解散＞で、当日は渋滞なども心配されましたが、ほぼスケジュール通りに観光することができました。

まずは小涌谷近くの岡田美術館へ。ここは日本や中国など、東洋古美術では屈指のコレクションを誇る美術館です。今では市場に出ないであ

ろう中国古陶磁の名品、日本美術では埴輪から浮世絵、近代日本画まで急ぎ足で鑑賞、その中で葛飾北斎の？画には、皆さん目を白黒させていました。ここでは作品の他、庭園と足湯も楽しみました。

次は箱根神社。ここは芦ノ湖沿いの「平和の鳥居」があまりにも有名ですね。平和フェローの数人はおみくじを買って、その意味を尋ねたりしていました。

最後はニューウェルシティ湯河原へ。まず露天風呂を楽しみ、その後、佐藤 祐一郎P Gにご挨拶をいただき、夕食がスタート。皆さんフェローとの国際交流はもちろん、他地区ロータリーの方々とも楽しく交流を図っていました。一日楽しく、また無事に終わりましたこと、感謝申し上げます。



岡田美術館で足湯を楽しむ



箱根神社の平和の鳥居



平和フェローに囲まれ夕食



最後にみんなで集合写真

米山同窓会と同窓生の集い

米山奨学生 許ミンワン

第2780地区第四回米山同窓会と同窓生の集い懇親会が5月12日、鎌倉で開催され、ロータリアンを含む約50人が参加しました。

同窓会の序幕は、米山梅吉記念館の市川 真理さんの講演から始まりました。素敵な講演の内容で最も印象に残っているのは、米山 梅吉さんが実践したSDG s 「S：すべては人のために。D：できることからコツコツと。G：ゴールを笑顔で迎えるために。s：そんなあなたに私はなりたい」です。いつか自分自身も、米山さんみたいに実践できるように頑張っていきたいと思っています。

幕間は鎌倉児童ホームへ移動して、子供達と遊んだり、料理を作ったり、交流したりしました。子供達と距離を縮めるため、何試合かドッジボールゲームをやりました。途中からみんなが本気を出して熱々試合になり、とても盛り上がりました。クレープとスリランカの料理も子供達に大好評でした。子供達と短時間しか一緒にいられなかったのに、すぐ仲良くなってくれて本当にうれしかったです。

終幕は米山奨学生、学友とロータリアンはテーブルを囲んで、お好み焼きを美味しく食べながら言葉を交わしました。

第四回米山同窓会と同窓生の集いで充実した一日を過ごせて、素敵な思い出を作ることができました。

米山学友 チャンドラシリ マユミ

この日は午後12時ごろに始まり、2人の卒業生がその日に必要な材料をすべて持ってきました。児童養護施設に食材を届けた後、同窓生と

奨学生全員が公民館に集まり、米山 梅吉さんについてのプレゼンテーションを聞きました。プレゼンテーションは、非常に洞察力に富み、米山氏がどのようにしてなぜこの財団を設立したのかを思い出すのに役立ちました。本当に知識豊富な講演でした。午後2時頃、奨学生と会員全員が到着する前に、同窓会会員2名が孤児院へ向かい、食材の準備をしました。メンバー全員が到着すると、全員が2つのグループに分けられました。グループ 1 は子供たちとドッジボールをし、グループ 2 はカフェテリアに残って細かい準備を手伝いました。

この日のメニューは、ホイップクリームを添えたクレープと、南アジアのスパイスが効いたトルティーヤラップでした。時間が経つと、児童養護施設の子供たちと残りの奨学生が食堂に到着し、ドッジボールをした後、一緒に料理を始めました。子供たちは疲れていてお腹が空いていたにもかかわらず、料理を手伝うと主張しました。子どもたちはクレープを混ぜたり、ホイップクリームを作ったり、フルーツをカットしたりしました。年長児はトルティーヤラップの組み立てを手伝ってくれました。クレープとトルティーヤを作るのに3つのホットプレートを使用しました。それぞれ80個以上を作ることになりました。子どもたちも会員も奨学生もみんな大満足でした。充実した一日を過ごすことができました。その日は私たちに、今この瞬間を生きて幸せになること、そして常に周りの人々を助け、親切にすることを教えてくれました。

奨学生にとっても、孤児院の子どもたちにとっても、とても良い経験となりました。



次年度クラブ幹事研修

地区クラブ管理運営委員会
副委員長 蜘蛛 匠
(伊勢原平成RC)



去る5月19日(月)に、次年度クラブ幹事研修を第一相澤ビル8階会議室に於いて実施されました。地区内ロータリークラブ・ローターアクトクラブより約60名(地区役員・委員除く)の皆様が集まりました。

田島ガバナーにご挨拶頂き、佐々木ガバナーエレクトに年度の説明をして頂き研修を始めました。

最初に市川地区研修副委員長より「研修の重要性とロータリー関係のネット資料の活用」について資料を基に、ネット上にいくつかあるロータリーの情報を使用し活用すること、どのような資料がどこにあるかの重要性について講演頂きました。

地区クラブ管理運営委員会、辻委員長より「幹事の責務、事務局との関係」について、参加者に事前受講を依頼していた、My Rotaryのラーニングセンターにある「幹事の基本」や事前配信資料の「クラブを成功に導くリーダーシップ：幹事編」を基に、幹事の役割についての研修をしました。

小山副委員長より「地区資料(カレンダー)

の説明」として、分担金等の送金についてや報告事項について、地区の年間スケジュールについて研修しました。

能勢副委員長より「My Rotaryの活用」として、My Rotaryにどのようなことがあるのかの説明や、ロータリーショーケースでの国内や世界のロータリークラブの奉仕活動の情報の見方、ブランドリソースセンターの活用について、ラーニングセンターでの研修資料について、ロータリー行動グループや親睦活動グループの紹介、My Rotaryの登録方法について、クラブセントラルへのアクセスについて、地区のホームページの紹介、とボリュームのある研修をしました。蜘蛛副委員長より「クラブ優秀賞の内容とクラブ戦略計画とクラブ細則の見直し」について、クラブ優秀賞(旧ロータリー賞)の各項目の説明、それに伴うクラブ戦略計画やクラブ細則の見直しの重要性についての説明がありました。

最後に、松下ガバナーノミニの総括により締め括られ、2時間の短い時間でしたが内容の濃い研修となりました。次年度幹事の皆様のクラブの運営に役立てて頂ければ幸いです。



セミナー

次年度会員増強セミナー

地区会員増強・拡大維持委員会

委員長 山 田 嗣

(鎌倉中央RC)



今年度も残り2ヶ月を切った中、5月19日日曜日13:30から15:30まで会員増強セミナーを行いました。「アクセスしやすい場所で」との声が昨年あったので、ガバナー事務所のある相澤ビルの8階で行いました。当日は午前中に幹事セミナーが行われ、クラブによっては両方に出席された方もおられたと思います。心より感謝致します。

地区研修・協議会と1ヶ月開かない開催でしたので、今回は対象者を会長エレクトと会員増強委員とさせて頂き、基本的には同じお話をする形としました。

ご存じのように研修協議会は次年度会員増強委員長の皆様にお越し頂くのですが、会員増強を考えた時に、やはり会長の力というの大きな役割を占めていますので、増強セミナーには是非とも、ということで会長エレクトを対象とさせて頂きました。何でもかんでも会長に、というのは、分業や負担を軽減することを目指している昨今のロータリーとは逆方向のような気がして、甚だ心苦しかったのですが、クラブの未来を作り、土台を強化する役割を担う会員増強という重要性に鑑み、ご足労頂きました。会長エレクトをはじめ、幹事エレクト、会員増強委員長、会員増強委員等全部で70名を超える参加を頂き大変有難う御座いました。

田島ガバナーと佐々木ガバナーエレクトにご挨拶頂き、藤原地区委員による委員会報告として、地区としての会員増強の考え方を説明して頂きました。

続いて、木村副委員長より、データから見る

現況と最新会員増強手法としてお話頂き、藤沢南クラブで衛星クラブの立ち上げの中心におられた、永松副委員長に衛星クラブについてお話しして頂きました。最後に私が次年度に向けての話の後、休憩、グループディスカッションに進みました。

70数名を6グループに分かれて頂き、30分を超えるディスカッションを行いました。発表者や書記をおかず、ファシリテーターによってなるべく等しく色々な話を引き出す事を目的としたので、さまざまな立場での自由な発言が出来たのではないかと考えております。

問題点も数々ありました。

まず人数ですが、全クラブから2名の出席を頂くと単純計算で134人となり、1つのフロアでは収まらないこと。また70名でもスライド等が見えにくい場所があること。グループディスカッションで12名1テーブルは人数が多すぎ、端の方の発言が聞こえにくいこと。また、聞こえにくいため大声になり、どのテーブルも声を張り上げる事になってしまった事。もしもディスカッションを2か所で行うとしたら、終わりの挨拶をどのようにするのかという事。これらの問題に善処しつつ、来年に繋げていきたいと思っております。

最後に講評を松下ガバナーノミニーから頂き、盛会の中終了を迎えました。後日資料を各クラブ宛に送付させて頂きました。足りなかった部分を補って頂ければ、幸いです。

今回のセミナーに関わって頂いた全ての方に感謝致します。有難うございました。

第16回 全国RYLA研究会 福島会議

地区青少年奉仕委員会

委員長 中 込 仁 志

(鎌倉RC)



2024年6月8日、9日の両日に佐々木 辰郎GE、松下 孝GN、脇 吉昭RYLA委員長と共に、4名にて参加を致して参りました。

私が、本年度より設置をされました、全国RYLA連絡会運営委員会の役員を拝命致しており、当地区のRYLAセミナーへの取組みと展望を発表させて頂き、パネリストとしても登壇の機会を頂戴致したことも重なり、GE、GNにもご出席頂きました。

全国34地区のRYLA担当者が集い、RYLAの意義、歴史、原状、展望を報告し合う機会となりました。

佐藤 芳郎RI理事、水野 功RI理事E、三木 明研究会顧問のお話を伺う機会にも恵まれ、RYLAへの理解を深めました。

30年以上の歴史を持つ地区や、近年再開された地区等、様々な事例があり、それぞれが大変に興味深く、参考になりました。

本年度の当地区RYLAセミナーは、当地区内に集う青少年、又は関係する青少年を受講対象者とし、それぞれが、どのような目的、意識を持ってロータリーに携わっているのか、それぞれがどのような活動、事業を行っているのかを理解し合い、その活動、事業等ではどのような能力、リーダーシップが求められるのかを模索すべく開催されました。

又、年次大会以外の事業を持たないローターアクト委員会に活動の場を提供し、運営を担って頂き、若い世代間でのリーダーシップ観を共有する場面とし、ロータリーが目指す次世代のリーダー育成の意義を良く理解して頂いた上で、

受講者も学び、運営者も学び、我々ロータリー会員は、思いを託し、任せるということを学べる機会になることをも目指しました。

どの地区も、「費用の捻出」「受講生の確保」「開催地（クラブ）の負担」という問題点は、ほぼ共通しており、それらを打開する一つの形式として、ご報告をさせて頂きました。

手法としては新しいものであったようで、外部からの受講者を募るという概念からも離れ、地区主導で、ローターアクトにも活躍の場面を提供するというのが、新たな試みであることも合わせ、再開して間もないいくつかの地区の方から、受講生の交換派遣や、持ち回り開催などの検討もお声掛け頂いたことから、少なからず評価を頂いたのではないかと思います。

佐々木GE、松下GNからもご賛同を頂き、この手法の検証のためにも、同形式でのセミナー開催にご理解を頂き、更に有意義な「次世代の地域を担う、健全な青少年の育成」のための事業となるべく、継続して開催することに、ご同意頂きました。

若者の育成のために、若者の目線に合わせ、そこにロータリーの想いを溶け込ませる。

そんなRYLAセミナーの開催を目指すべく、今後も携わらせて頂きたいと思っております。

平和フェロー 日本文化交流会

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 福 山 茂

(相模原グリーンRC)



6月15日、横浜中華街「萬珍樓」にて、第2590地区と合同の財団奨学生壮行会が開催されました。これは両地区の財団学友会が主催で、これから留学する奨学生を励まして送り出そうという趣旨で行われ、当地区からは4名の奨学生が参加しました。以下は推薦クラブと留学先です。奇しくも4名とも留学先はイギリスとなりました。

小林 由季 <葉山RC サセックス大学>

清原 亜実 <かながわ湘南RC ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE)>

杉野 若葉 <相模原中RC ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)>

野崎 里奈 <座間RC サセックス大学>

壮行会ですが、まずは後藤 定毅当地区R財団委員会委員長による開会の辞、第2590地区の樋口 明ガバナーのご挨拶、佐々木 辰郎ガバナーエレクトの乾杯によりはじまり、しばし歓談後、それぞれの地区の奨学生紹介、学友からの帰国報告、近況報告や学友会の活動紹介がありました。これは第2590地区の奨学生や学友会の活動の様子がわかり、たいへん参考になりました。

これに限らず、合同で開催することの大きな意義に、第2590地区との情報交換が密にできるということがあります。例えば、私のテーブルに第2590地区の方 しおんさんという奨学生がいらっしまったのですが、留学先をお聞きするとロンドンということでしたので、さっそく当地区の清原さんを紹介しました。その後お二人でいろいろと情報交換されていましたが、このお二人に限らず、地区を越えての交流や情報交換をそこかしこで見ることができました。

そしてメインイベントである学友会からの記念品贈呈（名刺と名刺入れ）、奨学生の決意表明へと進み、その後各担当委員会の委員長から贈る言葉を述べました。最後は全員で記念撮影し、散会となりました。

その後、やはり学友会が手配してくださった二次会に奨学生はじめ多くの方が参加し、より親密な交流を図ることができました。奨学生にとって楽しく、また有意義な一日になったことと思います。この様な交流が図れることも、ロータリー奨学金での留学の大きなメリットではないでしょうか。参加した奨学生も、そのことを感じ取っていただけたことと思います。

最後にすべてを手配してくださった小林 拓海財団学友会代表幹事をはじめとする当地区財団学友会及び第2590地区財団学友会の皆様に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



青少年交換 Farewell Trip

青少年交換委員会

委員長 新井 智代

(藤沢南RC)



1年の交換プログラムもいよいよ終わりに近づいた6月15日(土)～16日(日)。

現在第2780地区に滞在する来日学生（インバウンド）9名（カナダ・メキシコ・ブラジル・台湾・ドイツ・イタリア・フランス・スウェーデン・デンマーク）と、次年度出発に向けて選考された派遣生（アウトバウンド）9名、合わせて18名でFarewell Trip（お別れ旅行）を行いました。第2780地区に来日することで出会った各国からの学生達は、毎月行うオリエンテーション、京都研修やスピーチコンテストを通して互いに深い友情で結ばれてきました。全員にとって別れがせまる最後の交流です。

1日目、小田原駅に朝8時に集合、大雄山駅へ。駅に降りると、前日まで降った雨もすっかりあがり真っ青な空が高くひろがる中、5キロ弱のハイキングで「曹洞宗 最乗寺」を目指しました。紫陽花が咲き並ぶ遊歩道と長い階段を、汗びっしょりかきながらハアハア言って上がりきると、600年の歴史のある勇壮な「最乗寺」の境内にたどりつきます。今回は、広い本堂の中で座禅の体験をさせていただきました。初めての学生も多かったと思いますが、ひとときの静寂の中、日本の文化を改めて体感し心を整えました。お昼はそのまま精進料理をいただいた後、「足柄ふれあいの村」へ移動。緑豊かな自然の中に点在するコテージに宿泊です。夕食は全員協力

して火をおこし、BBQを楽しみました。インバウンドもアウトバウンドも交じってチームワークもバッチリで、お腹いっぱいになった後は、近隣の温泉「おんり〜湯」で汗を流しました。

全員で囲んだキャンプファイヤーは、ROTEXからのプレゼントタイムです。このプログラムにおけるROTEXの活躍は、本当に素晴らしいとしか言いようがありません。今回もサプライズで写真集を作り、1人1人へ寄せ書きし、思い出のアルバムとして手渡してくれました。受けた学生たちのスピーチでは、日本に来たことの感謝、ホストファミリーへのお礼の想い、出会えた感動など気持ちを素直に伝えあい、別れを想うと涙を浮かべるシーンもあり、心に残るひとときとなりました。

翌日は、ポリオプラス委員会からプレゼントしていただいた揃いの真っ赤なポロシャツで「富士急ハイランド」へGO！絶叫マシーンや楽しいアトラクションで、笑顔の爆発する1日を過ごしました。

この2日間を通して、学生達が留学生同志の仲間として強い絆で結ばれるようになったことがよくわかりました。親善大使として自国へ帰っても、お互いのつながりを忘れずに生きていてくれることを願います。ホストクラブの皆様、特に彼らの成長を見守ってくださったホストファミリーの皆様に、深く感謝申し上げます。





米山功労者一覧

(2023年7月1日～2024年6月30日)

第1グループ

◆米山功労者

三浦山本達樹 第1回
横須賀西長瀬弘 第1回

◆マルチプル

横須賀大野忠之 第5回
横須賀北平松廣司 第8回
横須賀伊与田あさ子 第3回
横須賀浦藤喜代司 第2回
横須賀西落合伸一 第2回
横須賀桐ヶ谷主税 第3回

◆メジャードナー

横須賀波島顕明 第20回
横須賀佐久間博一 第40回
横須賀長尾和典 第45回
横須賀小沢一彦 第69回

第2グループ

◆米山功労者

鎌倉小澤貴幸 第1回
鎌倉須藤公二郎 第1回
鎌倉岡本久 第1回
鎌倉大船久司 第1回
鎌倉中央橋本はづき 第1回

◆マルチプル

鎌倉中込仁志 第2回
鎌倉福住錦一郎 第2回
鎌倉田中道子 第3回
鎌倉飯田豊 第5回
鎌倉矢部房男 第8回
鎌倉石井昭二郎 第2回
鎌倉富田英雄 第8回

◆メジャードナー

鎌倉石田隆 第10回

第3グループ

◆米山功労者

藤沢岩崎智子 第1回
藤沢星谷けい子 第1回
藤沢野口捷代 第1回
藤沢西山一 第1回
藤沢西村広志 第1回
藤沢北西村孝次 第1回
藤沢南中川貴博 第1回
藤沢村上至 第1回
ふじさわ湘南保田嘉彦 第1回
ふじさわ湘南横田晃一 第1回
ふじさわ湘南泉玲子 第1回

◆マルチプル

藤沢金田勝俊 第2回
藤沢川上彰久 第2回
藤沢木島英夫 第8回
藤沢西宮下稔 第8回
藤沢東渡邊昭 第2回
藤沢南大和田章夫 第2回
藤沢直也 第3回
藤沢大澤尚武 第4回
藤沢木本己樹彦 第4回
藤沢山根博正 第4回
藤沢阿部劍朗 第5回
藤沢森井信太 第5回
ふじさわ湘南松下力 第2回
ふじさわ湘南奥和子 第3回
ふじさわ湘南高木直之 第6回
ふじさわ湘南柚木裕子 第6回

◆メジャードナー

ふじさわ湘南翁述民 第10回

第4グループ

◆米山功労者

茅ヶ崎伊藤和明 第1回
茅ヶ崎徳舩幸丈 第1回
寒川鈴木正秋 第1回
綾瀬矢口大作 第1回
茅ヶ崎湘南櫻井真貴 第1回
茅ヶ崎湘南鈴木世界 第1回
茅ヶ崎湘南降矢敬 第1回
茅ヶ崎中央山本義治 第1回
茅ヶ崎中央小山博樹 第1回
茅ヶ崎中央嵯峨野貴央 第1回

◆マルチプル

茅ヶ崎横山貢 第2回
茅ヶ崎大森久巳男 第6回

寒川井上穂 第2回
寒川高波信一 第2回
寒川村松晴雄 第2回
綾瀬内野恒一 第2回
綾瀬中島保司 第5回
茅ヶ崎湘南笠間茂治 第6回
茅ヶ崎湘南島田裕巨 第7回
茅ヶ崎湘南加藤盛久 第5回
茅ヶ崎湘南松宮滋子 第6回
茅ヶ崎中央渡邊元洋 第2回
茅ヶ崎中央神尾慶純 第2回
茅ヶ崎中央藤原琢也 第4回
茅ヶ崎中央山本泰然 第4回
茅ヶ崎中央當間安弘 第5回
茅ヶ崎中央長尾洋二 第5回
綾瀬春日笠間治一郎 第3回
綾瀬春日笠間博幸 第4回
茅ヶ崎武田敬 第4回
茅ヶ崎田中賢三 第20回

◆メジャードナー

茅ヶ崎田中賢三 第20回

第5Aグループ

◆米山功労者

相模原鈴木誠 第1回
相模原守屋又市 第1回
相模原グリーン井上誠士 第1回
相模原橋本原正弘 第1回
相模原ニューシティ岡田耕次郎 第1回
相模原小俣俊一 第1回

◆マルチプル

相模原西澤勇司 第2回
相模原成川猛 第3回
相模原グリーン高橋三叔 第2回
相模原佐藤眞一 第8回
相模原津久井中央具尚禮 第2回
相模原杉本信一 第3回
相模原藤佐藤祐一郎 第6回
相模原江成藤吉郎 第2回
相模原萩原義久 第4回

◆メジャードナー

相模原杉岡芳樹 第46回
相模原グリーン瀬谷武男 第10回
相模原橋本原幹朗 第54回

第5Bグループ

◆米山功労者

相模原南雲田直輝 第1回
相模原中崎直利 第1回
相模原西義澤彰 第1回
相模原東平野光英 第1回

◆マルチプル

相模原南中村好孝 第2回
相模原中村辰雄 第3回
相模原中村俊夫 第5回
相模原桑崎雄一郎 第5回
相模原足立旬一 第7回
相模原中櫻内康裕 第3回
相模原中櫻内悦子 第3回
相模原中竹田繁 第7回
相模原中野小野孝 第8回
相模原西草薙喜義 第3回
相模原東一戸徳雄 第6回
相模原柴胡篠崎栄治 第2回

◆メジャードナー

相模原南大谷新一郎 第15回

第6グループ

◆米山功労者

厚木小島久美子 第1回
厚木金井良雄 第1回
大座間花岡淳子 第1回
大座間鈴木義隆 第1回
大座間野口宏 第1回
海老名小田素久 第1回
海老名武井哲也 第1回
海老名安澤文夫 第1回
海老名樺谷佳浩 第1回
厚木中央関野耕正 第1回
厚木中央森志朗 第1回
厚木中央小島富司 第1回
厚木中央中村昭夫 第1回

◆マルチプル

厚木前島憲 第2回
厚木森住勇 第2回
厚木滝澤哲 第3回
大和中西健治 第2回
大和中藤川孝幸 第7回
大和田園小島孝正 第9回
大和田園小井一彦 第7回
海老名山口修 第8回
海老名吉岡祐謙 第2回
海老名吉岡寛 第3回
海老名吉水知波 第3回
海老名高田隆 第7回
海老名樺田晃 第9回
海老名樺田啓明 第2回
海老名樺田公浩 第2回
厚木中央仙一美子 第5回
厚木中央難波真奈美 第2回
厚木中央岩堀美子 第3回
厚木中央神崎進勉 第3回
厚木中央新川幸夫 第3回
厚木中央高畑義行 第4回
厚木中央土屋平 第5回

◆メジャードナー

大和中古木通夫 第24回
大和中長野俊八 第10回
大和田園樋田修 第10回
大和田園佐々木辰郎 第15回

第7グループ

◆米山功労者

秦野田中宏 第1回
秦野秋山哲也 第1回
秦野磯崎貴史 第1回
秦野土屋修 第1回
秦野堀口雅巳 第1回
秦野名水福原美千加 第1回

◆マルチプル

秦野佐藤達也 第2回
秦野井上善博 第3回
秦野三嶽聖 第3回
秦野大川涉 第4回
秦野秋山純夫 第5回
秦野小泉順一 第6回
秦野宇山忠男 第8回
秦野須藤宣弘 第2回
秦野三浦義政 第3回
秦野高橋豊一 第5回
秦野佐野友保 第7回
伊勢原中央熊澤美徳 第2回
伊勢原平成宮本佳昭 第3回
伊勢原中村眞英 第4回

◆メジャードナー

伊勢原松下孝 第15回
秦野中野良太郎 第50回

第8グループ

◆米山功労者

平塚青木紀美代 第1回
平塚今村佳広 第1回
平塚葛西敬 第1回
平塚小林誠 第1回
平塚笹尾茂樹 第1回
平塚嶋田政光 第1回
平塚白石慎太郎 第1回
平塚鈴木成一 第1回
平塚鈴木忠治 第1回
平塚瀬尾光俊 第1回
平塚豊川忠紀 第1回
平塚永瀬剛司 第1回
平塚日坂泰之 第1回
平塚前田孝平 第1回
平塚元吉裕員 第1回
平塚柳川信男 第1回
平塚紀之 第1回
平塚米山俊二 第1回
平塚米山範明 第1回
平塚國年洋子 第1回
平塚伊藤和彦 第1回
平塚柏手茂 第2回
平塚木村義広 第2回
平塚清水孝一 第2回

清水水口雅 第2回
清水関幸恵 第2回
清水橋建二 第2回
高橋誠司 第2回
森司之 第2回
片野之万 第3回
鳥海弘道 第3回
三荒一仁 第5回
大澤正人 第5回
福澤昌行 第6回
杉田敬 第7回
櫻田和男 第5回
平塚北宮西 第2回
平塚西 第2回
平塚 第2回

◆メジャードナー

平塚西山田雅孝 第30回

第9グループ

◆米山功労者

小田原神戶秀典 第1回
小田原佐藤哲也 第1回
小田原高井由佳 第1回
小田原山口篤司 第1回
箱根駒荒木実 第1回
箱根小田原城北河野友美子 第1回
箱根小田原城北澤田大佑 第1回
箱根小田原城北高瀬美穂 第1回
箱根小田原中松浦秀敏 第1回
箱根小田原柄永田準一 第1回

◆マルチプル

小田原穗坂肇 第2回
小田原加藤芳雄 第3回
小田原高野久男 第3回
小田原鈴木壮治 第4回
小田原鈴木博晶 第4回
小田原高木孝昭 第5回
小田原古川孝昭 第5回
小田原古川武法 第8回
小田原石田浩二 第2回
小田原北深澤昌光 第2回
小田原北小野量雄 第5回
小田原北小野隆夫 第8回
小田原北大川善明 第2回
小田原北荻野彰秀 第4回
小田原北辻村彰一 第4回
小田原北柳井内山修一 第6回

◆メジャードナー

小田原井上三郎 第10回
小田原根澤君雄 第10回

功労クラブ

横須賀賀 第88回
三浦浦 第13回
逗子子 第28回
鎌倉大船 第19回
鎌倉中央 第24回
藤沢沢 第39回
藤沢南 第20回
ふじさわ湘南 第11回
かながわDEI 第1回
茅ヶ崎湘南 第38回
寒川川 第32回
茅ヶ崎 第47回
茅ヶ崎中央 第26回
綾瀬瀬 第38回
相模原 第43回
相模原ニューシティ 第2回
相模原南 第35回
相模原中 第34回
相模原東 第22回
相模原木 第36回
厚木和 第42回
厚木中 第39回
厚木田 第25回
厚木老 第29回
厚木中央 第18回
厚木野 第46回
秦勢原 第30回
秦勢原中 第47回
平田塚 第48回
平田原 第41回
平足柄 第23回

R 財団寄付者一覧

(2023年 7 月 1 日～2024年 6 月30日)

アーチ・クラブ・ソサエティ

横 須 賀 小沢 一彦
相模原西 田島 敏久
相模原かめりあ 田島富美子

大口寄付

横 須 賀 長尾 和典
藤 沢 東 村上 進
相 模 原 杉岡 芳樹
相模原かめりあ 田島 恵
秦 野 中 小野良太郎
平 塚 西 山田 雅孝

メジャードナー

横 須 賀 岡田 英城 L 1
横 須 賀 北 福嶋 義信 L 1
鎌 倉 中込 仁志 L 1
逗 子 石田 隆 L 1
逗 子 武藤 薫子 L 1
藤 沢 東 村上 進 L 1
相模原かめりあ 鎌田えり子 L 1
相模原西 草薙 喜義 L 1
大和田園 樋田 修 L 1
相模原おださが 野々山英樹 L 2
大和田園 佐々木辰郎 L 2
秦 野 佐野英之・二三 L 2
秦 野 中 小野良太郎 L 2

ボール・ハリス・ソサエティ

横 須 賀 小沢 一彦
植田 威
角井 駿輔
森 洋
鎌 倉 菅原 光志
久保田英男
ふじさわ湘南 相澤 光春
田島 透
かながわ湘南 高木 直之
原 千草
柚木 裕子
茅ヶ崎 田中 賢三
茅ヶ崎湘南 松宮 剛
脇 洋一郎
相 模 原 杉岡 芳樹
津久井中央 佐藤祐一郎
相模原南 大谷新一郎
相模原西 田島 敏久
相模原かめりあ 田島富美子
鎌田えり子
秦 野 万也
佐野 英之
井上 善博
伊 勢 原 松下 孝
飯田 隆三
秦 野 中 小野良太郎
秦野名水 原 郁夫
平 塚 西 升水 一義
塚 山田 雅孝
足 柄 山地 裕昭

ポリオプラス・ソサエティ

横 須 賀 石田 裕樹
植田 威
小林 康記
佐久間博一
澤田 菊江
高橋 隆一
谷 繁信
角井 駿輔
永井 信年
新倉 定治
福西 美子
藤村 昌一
前田 長生
八巻 敏博
土田 匡明
石井 伸二
鎌 倉 中込 仁志
横山 英夫

藤 沢 鈴木 大次
かながわ湘南 柚木 裕子
綾 瀬 生駒 秀之
大 和 富岡 弘文
古川 毅
座 間 樋田 一徳
日野原征夫
後藤 定毅
大 和 中 佐々木尚壽
厚 木 中 佐々木辰郎
大和田園 須永理恵子
伊 勢 原 樋田 修
飯田 隆三
秦 野 中 小野良太郎
平 塚 北 根岸 君代
平塚湘南 関口 直美
小田原北 柴田 直明
中谷 元士

ベネファクター

横 須 賀 藤村 昌一
鎌 倉 濱田まり子
逗 子 横山 健
葉 山 齋藤 徹
藤 沢 小河 静雄
藤 沢 南 後藤 康太
茅ヶ崎 杉本 剛昭
水嶋 聡
相 模 原 守屋 又市
厚 木 中 小澤 俊通
大和田園 大谷 徳治
樋田 修
厚木県央 松本 豊
秦 野 山口 宏
伊 勢 原 須藤 宣弘
秦 野 中 内藤 房薫
伊勢原中央 小林 俊道
平 塚 西 小網 嘉則
小 田 原 徳坂 肇

ボールハリスフェロー

横 須 賀 加藤 淳
新倉 良是
濱田 恵里
横 須 賀 北 佐々木佑倫
横 須 賀 南 西 海老原 平
折笠 仁志
鎌 倉 中島 広数
逗 子 稲垣 正
葉 山 佐藤 竜司
鎌倉中央 金子善七郎
山口 道孝
藤 沢 新堀きよみ
藤 沢 西 西山 一
村 広志
藤 沢 東 張 幹枝
藤 沢 南 中川 貴博
村上 至
寒 川 鈴木 正秋
綾 瀬 田墨幸一郎
津田 哲郎
茅ヶ崎湘南 鈴木 世界
蛇川 和宏
降矢 敬
茅ヶ崎中央 小山 博樹
相 模 原 鈴木 誠
相模原南 小林大二郎
栗田 直輝
藤原 新一
相模原中 河野 崇
阪西 貴子
厚 木 中 村上 進
座 間 佐藤 京子
古木 普総
中村貴代美
小田 素久
小野塚政洋
海老名樺 上 蘭 朗

谷口 佳浩
森 志朗
北村 圭一
細野 喜裕
小田 靖
林 義博
相山 洋明
笹尾 茂樹
新堀 将一
又城 雅弘
松本 崇
平 塚 北 平山 英代
二 宮 鈴木 滋
平塚湘南 川内美喜男
品田 雄一
大森 大
小田島 圭
河野精一朗
藤井 香太
山口 由佳
菊谷 和彦
石村 文亨
井川 伸司
松下 弘樹
荒木 実
河野友美子
飯山 真
望月 昌仁

マルチプル・フェロー

横 須 賀 勝見 慎一 M 1
鈴木 孝博 M 1
角井 駿輔 M 1
江沢 曉彦 M 3
上林 茂 M 3
澤田 菊江 M 3
谷 繁信 M 3
植田 威 M 4
佐久間博一 M 5
岡田 英城 M 8
竹永 薫 M 1
前川 永久 M 1
石井 伸二 M 5
福嶋 義信 M 8
山本 達樹 M 1
奥山 浩司 M 2
秋本 清道 M 6
楠山 泰道 M 6
井出 智三 M 8
濱田まり子 M 3
柴田 光廣 M 4
飯田 豊 M 5
中込 仁志 M 8
久 久 M 2
矢島 浩 M 1
岡本 久 M 2
菊池 尚 M 4
石田 隆 M 8
武藤 薫子 M 8
鈴木誠二郎 M 1
関根 貢 M 1
富田 淳 M 1
戸張 雅仁 M 3
原 泰一 M 3
吉野 貴美 M 1
山川ふみ子 M 5
磯田 賢吾 M 1
小澤 一成 M 1
塩坂源一郎 M 1
芳川 恵子 M 1
村木 薫 M 2
石田 能治 M 3
古川 進 M 8
阿部 貴之 M 1
井上 直紀 M 1
府中 洋 M 2
後藤 康太 M 1
新井 智代 M 2
栗原 義夫 M 2

永松 秀行 M 2
大和田 章夫 M 2
森井 信太 M 5
寺田 圭次 M 1
藤井 尚孝 M 1
市島 徹 M 2
吉田 和人 M 2
下里 由香 M 2
北村 公子 M 1
杉本 剛昭 M 1
富田 桂司 M 1
小澤 雅彦 M 3
山口 利通 M 7
石腰 亮 M 1
青木 誠 M 2
井上 稔 M 2
磯川 浩 M 4
伊藤 正貴 M 1
加藤 良男 M 4
渡井 克正 M 4
田中 伸宜 M 5
中村 明正 M 5
島田 裕巨 M 7
関川秀三郎 M 7
古部 孔文 M 7
菊池 傑 M 1
脇 卓光 M 1
伊澤 敏典 M 2
木村 康治 M 2
松岡 慶純 M 2
山崎 正三 M 3
山口洋一郎 M 4
峯尾 勝彦 M 1
網島 洋一 M 2
細谷 浩之 M 2
紀 孝 M 3
鈴木 光男 M 4
山口 紀生 M 2
井上 穰 M 4
鈴木 正彦 M 4
根本 敏子 M 5
相模原グリーン 関根 正司 M 1
伊藤 信吾 M 3
福山 茂 M 6
相模原橋本 井上 毅 M 1
相模原南 一ノ瀬 裕 M 1
小方 實 M 1
徳久 京子 M 2
中村 辰雄 M 3
山田 修 M 4
杉崎 信一 M 6
相模原中 畠住 悦子 M 2
丸子 勝基 M 3
田所 毅 M 7
相模原西 加藤 哲 M 1
伊藤 卓巳 M 2
中原 貴志 M 2
草薙 喜義 M 8
中村 礼二 M 3
相模原柴胡 篠崎 栄治 M 5
鹿島 敏裕 M 8
相模原かめりあ 田島富美子 M 8
鎌田えり子 M 8
田島 恵 M 8
厚 木 市川 信也 M 1
前島 憲司 M 1
小島久美子 M 2
鈴木 茂男 M 2
会田 義明 M 3
本多 正彦 M 7
大 和 森川 良三 M 2
古川 毅 M 3
座 間 溝渕 信一 M 1
大矢 成行 M 2
大 和 中 中村 友彦 M 1
小柳 智裕 M 2
入江 公敏 M 3
長野 俊八 M 8

厚 木 中 五十嵐直樹 M 1
飯田 久夫 M 5
小島 正伸 M 5
山口 光正 M 5
藤川 孝幸 M 6
金子 光雄 M 5
大和田園 樋田 修 M 8
高橋 晃 M 7
海 老 名 永岡 史隆 M 1
海老名樺 青木 浩一 M 2
小林 和彦 M 4
飯島 博之 M 5
上野 秀子 M 5
加藤 伸一 M 5
鈴木 勇 M 5
宮台 均 M 5
太田幸四郎 M 6
白井 善一 M 1
厚木県央 難波真奈美 M 1
守屋 孝則 M 1
和田 貴樹 M 1
岩堀 美子 M 2
岡見 健 M 2
田口 幸一 M 2
土屋 義行 M 3
松本 豊 M 3
本 厚 木 中村 昭夫 M 1
鈴木八四郎 M 2
石川 範義 M 5
秦 野 郭 根男 M 1
井上 善博 M 2
高橋 滋樹 M 2
原 しのぶ M 3
杉本 榮次 M 4
伊 勢 原 外谷 正人 M 1
堂前 慶之 M 1
秦 野 中 三浦 義政 M 2
伊勢原中央 柏木 清 M 4
秦野名水 桐山 晃忠 M 4
伊勢原平成 鈴木 英彦 M 1
飯島 新治 M 3
平 塚 白石慎太郎 M 2
木村 義広 M 2
清水 孝一 M 2
関口 幸恵 M 2
升水 一義 M 5
大 磯 新宅 文雄 M 6
平 塚 北 櫻田 敬 M 6
平 塚 西 小網 嘉則 M 1
平塚湘南 原 康二 M 2
吉野 龍彦 M 3
小 田 原 杉崎 克康 M 1
清 元秀 M 1
堀 俊一 M 1
大田和俊彦 M 2
川瀬 公之 M 2
山室 秀之 M 3
鈴木 壯治 M 4
鈴木 博晶 M 4
湯 河 原 青木 義美 M 2
石川 博 M 4
西山 敦 M 4
平間 章弘 M 4
箱 根 鶴巻 美樹 M 2
小田原北 小林 淳一 M 1
林 淳 M 2
西山 量雄 M 4
小田原城北 荻野 善明 M 1
大川 久弥 M 2
小田原中 宇佐美満規子 M 1
小笠原延郎 M 2
勝保 秀美 M 1
田中 政吉 M 3
堀山 和代 M 3
小林 泉 M 6
足 柄 飛弾 康則 M 2
勝又 辰美 M 3
三浦 敏幸 M 4



ROTARY Festival 2024 in YOKOSUKA



2024年6月29日(土) 空模様も何とか踏ん張ってもらい、田島 敏久年度最後の催しとして、第2780地区ロータリーフェスが、横須賀で開催されました。

出演バンドは5組で、①茅ヶ崎ロータリークラブ"選抜"混声合唱団、②UP cycle's (海老名樺RC+海老名RC)、③大和ロータリークラブバンド、④第2780地区バンド(横須賀RC+相模原ニューシティーRC+大和RC+平塚RC)、⑤AGバンド(各グループAGの皆様)が演奏及び歌声を披露して、お昼の部と夜の部で2回公演しました。

今回のフェスは、チケットを今年度AGの皆様が各40枚ずつ担当して頂き、200枚強ものチケットを捌いてくれました。事前販売だったこともあり、そのおかげで公演前に¥150,000円のポリオ根絶基金を捻出することが出来ました。ご理解・ご協力を頂きました皆様に感謝を申し上げます。

今回は、第2780地区内にてメンバーを募り、5グループもの参加を頂き、フェスを大成功に導くことが出来ました。参加バンドの皆さんは、お忙しい中、時間調整をして笑顔と固い絆で厳しい練習に臨んでくれたことと思います。その甲斐もあったのでしょうか、演奏内容も素晴らしく、プロ顔負けのレベルでした。クラブの垣根を超えた第2780地区ならではのロータリーフェスになったのではないのでしょうか。

また、FAR EASTの横須賀に200名弱の観衆の皆様が集まり、すべての方の笑顔の歓声が印象的で、音楽の持つリラックス効果と高揚感が、会場の雰囲気をお一層盛り上げてくれました。

今回のロータリーフェスの運営は、クラブ管理運営委員会が任命され、受付や司会など手配させて頂きました。しかし、参加グループのバンド皆様、そして各グループのガバナー補佐の皆様の協力がなければ、これほど明るく楽しく笑顔溢れるフェスにならなかったでしょう。本当にありがとうございました。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2023~2024 Governor

Toshihisa Tajima

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866



世界に希望を生み出そう

2023~2024年度ガバナー

田島 敏久

■事務所/〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp